

15 防災・減災対策

南海トラフ地震

南海トラフ地震
想定震源域(内閣府)



過去の南海地震は、これまでおおむね100年から150年ごとに発生しており、東南海地震や東海地震と同時、または数十時間から数年の時間差で発生したことが知られています。

南海トラフ地震は、南海トラフ及びその周辺の地域における地殻の境界を震源とする大規模な地震をいい、この中には南海地震や東南海地震、東海地震などが含まれます。それぞれの地震が単独で発生する場合もあれば、複数の地震が同時または時間差で発生する場合があります。

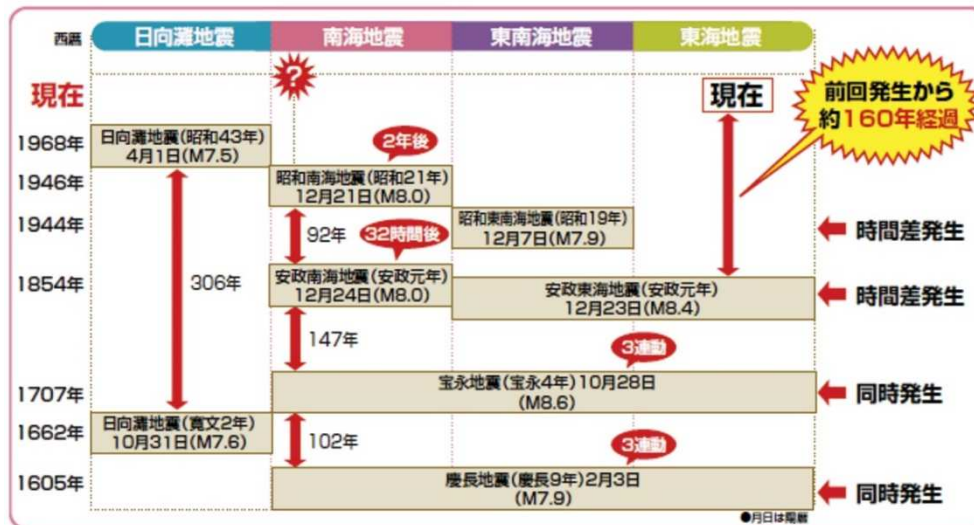
長期評価による地震発生確率値の更新
(令和7年1月15日公表)

長期評価による地震発生確率値は、地震調査委員会により公表されています。

最新の長期評価による地震発生確率値は、令和7年1月1日を基準日として算定したもので、南海トラフ地震は、次表のとおり更新されました。

南海トラフ(注1)	2024年1月1日時点の評価	2025年1月1日時点の評価
M8～M9クラス	Ⅲ★ランク	Ⅲ★ランク
平均発生間隔	88.2年	
ばらつきα	0.20～0.24	
経過率	0.88	0.90
10年	30%程度	30%程度
20年	60%程度	60%程度
30年	70%～80% (74%～81%)	80%程度 (75%～82%)
40年	90%程度	90%程度
50年	90%程度もしくはそれ以上	90%程度もしくはそれ以上
100年	90%程度以上	90%程度以上
300年	90%程度以上	90%程度以上

Ⅲ★ランク(高い): 30年以内の地震発生確率が26%以上
Ⅲ★ランク(やや高い): 30年以内の地震発生確率が3%～26%未満
Ⅲ★ランク: 30年以内の地震発生確率が3%未満
Xランク: 地震発生確率が不明(過去の地震データが少ないため、確率の評価が困難)
算定基準日における地震後経過率が0.7以上である海溝型地震については、ランクに「★」を付記する。



出典：高知県庁ホームページ「南海地震？ 南海トラフ地震？」
(<https://www.pref.kochi.lg.jp/sonae-portal/earthquake/nankai.html>)

出典：「長期評価による地震発生確率値の更新について」
(令和7年1月15日付け地震調査研究推進本部地震調査委員会公表)

1 5 防災・減災対策

住宅等耐震事業

■事業内容

南海トラフ巨大地震に備え、住宅耐震化の促進、避難路に面した危険家屋やブロック塀除却等による、避難路の安全確保を図る。

■令和7年度補助等の額

木造住宅耐震診断委託事業	自己負担なし
非木造住宅耐震診断補助金	上限 84,000円/棟
住宅耐震改修設計費補助金	上限 356,000円/棟
住宅耐震改修費補助金	上限 1,650,000円/棟
老朽住宅除却事業補助金	上限 1,645,000円/棟 補助率80%
ブロック塀等対策補助金	上限 407,000円/棟

住宅耐震改修補助金



ブロック塀等対策補助金



老朽住宅除却事業補助金



R6年度実績

補助金名	実績件数	実績額
住宅耐震改修費補助金	79件	126,377,000
老朽住宅除却事業補助金	33件	45,822,000
ブロック塀等対策補助金	22件	7,529,000